

## 各種委員会活動報告

### 広報委員会

広報委員会 委員長：西 美奈（電力中央研究所）  
幹事：大徳 忠史（秋田県立大学）

#### 1. 委員会構成

委員長：西 美奈（電力中央研究所），幹事：大徳 忠史（秋田県立大学），  
委員：岡部 孝裕（弘前大学），岸本 将史（京都大学），徳永 敦士（宇部工業高等専門学校），  
松岡 常吉（豊橋技術科学大学），馬淵 拓哉（東北大学），李 艶栄（茨城大学）。

#### 2. 委員会開催報告

##### 2. 1 第1回広報委員会（第96期&97期合同委員会）

日時・場所：2019年3月29日（金）・電力中央研究所大手町本部（加えてWEB会議）  
議題：引継，第97期活動計画確認，ニュースレターNo. 88～90の内容について。

##### 2. 2 メール審議（～2020年2月17日）

- ・ニュースレターNo.88, 89, 90発行のための審議（原稿収集，書式統合，著者および委員校正などの作業を分担し，多くの打合せを行った）。
- ・次期体制および引継ぎの打合せおよび審議。

#### 3. 活動報告

##### 3. 1 ニュースレター発行

- ・ニュースレター No. 89(12月号)を発行し部門ホームページで公開した。ニュースレター No. 90(4月号)は現在最終校正中である。
- ・97期のニュースレター編集担当委員は，No.88が岡部委員，松岡委員，No.89が徳永委員，李委員，No.90が岸本委員，馬淵委員であった。
- ・ニュースレターのコンテンツとして，今後も各種行事案内と報告記事の他，TED Plaza に各号2報以上の特集記事を掲載した。

##### 3. 2 部門ホームページの更新・維持管理

- ・部門ホームページのコンテンツを逐次，最新情報に更新した。
- ・部門概要，部門長挨拶，委員会名簿，行事予定，部門賞，新着情報掲載欄の維持管理を行った。

##### 3. 3 インフォメーションメールの運用

- ・2019年4月～9月までは52件，2019年10月～2020年2月現在までは下記の通り41件のインフォメーションメール配信を行った。

#### 4. 98期広報委員会構成

委員長：西 美奈（電力中央研究所），幹事：岡部 孝裕（弘前大学），  
委員：小林 芳成（岐阜大学），徳永 敦士（宇部工業高等専門学校），長澤 剛（東京工業大学），  
馬淵 拓哉（東北大学），水嶋 祐基（静岡大学），諸隈 崇幸（神奈川大学）。

配信日	配信元組織	配信先組織	タイトル
2020/2/14	環境工学	流体工学, 熱工学, エンジンシステム, 動力エネルギーシステム	No.20-28 香南清掃組合 まほろぼくクリーンセンター 施設見学
2020/2/3	動力エネルギーシステム	流体工学, 熱工学, エンジンシステム, 環境工学	動工ネシンポジウム開催と講演申込締切のご案内【締切:2/21(金)】
2020/1/22	環境工学	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 機械力学・計測制御	【締切延長:2月3日】No.20-6 第30回環境工学総合シンポジウム2020講演申込
2020/1/16	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	【残席あり】No.19-314 講習会「1DCAE実践講座(1DCAEスクール)第4回( ...
2020/1/16	熱工学	熱工学, 計算力学, 流体工学	国際会議ISTP31講演募集のご案内
2020/1/14	環境工学	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 機械力学・計測制御	【申込受付中】No.20-6 第30回環境工学総合シンポジウム2020講演募集
2020/1/8	流体工学	熱工学, 環境工学, 設計工学・システム, 技術と社会	後援行事「先端シーズフォーラム」開催のご案内
2020/1/7	熱工学	熱工学, 流体工学, エンジンシステム, 動力エネルギーシステム	(公益社団法人)日本伝熱学会 関東支部セミナー「分野外の技術者にもわ...
2020/1/6	エンジンシステム	熱工学, 動力エネルギーシステム	講習会No. 19-378「エンジン開発を支える計測技術」開催のご案内
2019/12/27	動力エネルギーシステム	材料力学, 熱工学, 環境工学	CUUTE-1 発表募集のご案内 (2/15まで)
2019/12/24	環境工学	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 機械力学・計測制御	No.20-6 第30回環境工学総合シンポジウム2020講演募集のお知らせ
2019/12/18	動力エネルギーシステム	流体工学, 熱工学, エンジンシステム, 環境工学	動工ネシンが講演申込み受付開始のご案内【締切:2/21(金)】
2019/12/16	流体工学	計算力学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 環境工学	(まだ残席がございます)No. 19-348講習会「流体とインフォマティクス...
2019/12/16	環境工学	熱工学, エンジンシステム, 動力エネルギーシステム	九州大学大学院総合理工学研究院教員(教授)公募のお知らせ
2019/12/11	熱工学	熱工学	医工連携展示企画のご案内
2019/12/10	動力エネルギーシステム	機械材料・材料加工, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	原子力工学国際会議(ICONE28)講演募集のご案内(アブストラクト提出期...
2019/12/6	熱工学	熱工学, 計算力学, 材料力学, 流体工学, 機械力学・計測制御	日本学術会議第5回理論応用力学シンポジウムご参加のお願い
2019/12/6	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	No.19-314 講習会「1DCAE実践講座(1DCAEスクール)第4回(2019年度)」...
2019/12/1	熱工学	熱工学	熱工学部門ニュースレターNo.89発行
2019/11/25	エンジンシステム	熱工学, 動力エネルギーシステム	講習会No. 19-378「エンジン開発を支える計測技術」開催のご案内
2019/11/22	動力エネルギーシステム	機械材料・材料加工, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	原子力工学国際会議(ICONE28)講演募集のご案内(アブストラクト締切延...
2019/11/22	環境工学	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム	No.19-385「西名古屋火力発電所」の見学会
2019/11/20	流体工学	計算力学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 環境工学	No. 19-348講習会「流体とインフォマティクス」のご案内
2019/11/8	エンジンシステム	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 機素潤滑設計	【事前参加登録の期日11/15】第30回内燃機関シンポジウム(広島)参加へ...
2019/11/7	熱工学	熱工学	[11/15締切]クリーンエネルギー分野における革新的技術の国際共同研究...
2019/11/6	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	日本機械学会「1DCAE・MBDシンポジウム2019(川崎)」事前参加登録のご...
2019/11/6	熱工学	熱工学, 流体工学, エンジンシステム, 動力エネルギーシステム	日本伝熱学会 関東支部セミナー「分野外の技術者にもわかる伝熱工学 - 最...
2019/11/5	熱工学	熱工学	乱流熱物質輸送国際会議(THMT20)アブストラクト切は(12/15)です
2019/11/1	熱工学	熱工学	国際会議「The 7th International Conference on Micro and Nano Flows...
2019/10/18	熱工学	熱工学, 流体工学, エンジンシステム, 動力エネルギーシステム	日本ガスタービン学会よりJIGTC2019Tokyoのご案内
2019/10/17	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	【残席あり】No.19-37 講習会「1DCAE実践講座(1DCAEスクール)第2回(2...
2019/10/17	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	No.19-374講習会「設計力UP!CAE活用術」~デジタル技術駆使の開発設計...
2019/10/17	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学	No.19-368講習会「VE/VRを用いた設計・開発・ものづくりの新しい検討手...
2019/10/14	エンジンシステム	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 機素潤滑設計	第30回内燃機関シンポジウム(広島)参加へのご案内
2019/10/10	熱工学	熱工学, バイオエンジニアリング, 流体工学, エンジンシステム, 動力エネルギーシステム	日本機械学会「熱工学コンファレンス2019(名古屋)」:全日程中止のお...
2019/10/8	熱工学	熱工学	2020年度年次大会(名古屋大学)におけるOS,企画等の募集について
2019/10/8	熱工学	熱工学, バイオエンジニアリング, 流体工学, エンジンシステム, 動力エネルギーシステム	日本機械学会「熱工学コンファレンス2019(名古屋)」:台風19号への対...
2019/10/5	マイクロ・ナノ工学	バイオエンジニアリング, 流体工学, 熱工学	【訂正】No.19-367講習会「COMSOLによるマルチフィジックス解析-基...
2019/10/4	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	No.19-334 講演会「1DCAE・MBDシンポジウム2019」講演申込み延長のご案内
2019/10/3	マイクロ・ナノ工学	バイオエンジニアリング, 流体工学, 熱工学	No.19-367講習会「COMSOLによるマルチフィジックス解析-基礎からの実...
2019/10/3	流体工学	計算力学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 環境工学	(まだ残席がございます)講習会『混相流入門:実験・数値計算の基礎が...

以上.

## 部門賞委員会

委員長: 鈴木 雄二  
幹事: 下栗 大右

構成員: 鈴木雄二 (委員長), 丸田 薫 (部門長), 宗像鉄雄 (前部門長), 下栗大右 (委員会幹事),  
林 潤 (前委員会幹事, オブザーバー)

### 1. 委員会の開催

#### 第1回部門賞委員会

日時: 平成31年4月26日(金) 14:30~15:00

場所: 東京大学 本郷キャンパス

議事: 委員会の年間予定・推薦手続きの確認

#### 第2回部門賞委員会

日時: 令和元年7月19日(金) 13:30~15:00

場所: 東京大学 本郷キャンパス

議事: フェロー候補者の選考, 部門賞・部門一般表彰候補者募集案内,  
若手優秀講演フェロー賞の推薦依頼

#### 第3回部門賞委員会

日時: 令和元年10月4日(金) 13:00~15:00

場所: 東京大学 本郷キャンパス

議事: 部門賞・部門一般表彰, 貢献表彰候補者の選考

#### 第4回部門賞委員会

日時: 令和2年1月24日(金) 13:00~15:00

場所: 電中研大手町地区(大手町ビル7階 710B 会議室)

議事: 部門賞・部門一般表彰, 貢献表彰候補者, 若手優秀講演フェロー賞の内定

### 2. フェロー候補者の推薦 (学会への提出締切り9月21日)

- (1) フェロー候補者の推薦について, 今期は熱工学部門のフェロー組織推薦定数は2名であること, 組織推薦定数を超えた推薦は一般推薦枠として審議されることを確認した. その結果から, 部門推薦定数2名に加えて, 一般推薦枠として2名, 合計4名を推薦することを決定した.
- (2) 前期の候補者をふまえて, 候補者リストを作成.
- (3) 幹事は投票結果を集計し, その結果をもとに第2回部門賞委員会において, 部門推薦定数2名と一般推薦定数2名を審議・決定した後, 第2回総務委員会において諮った(7月19日).
- (4) 委員長・部門長・幹事は, 最終的に推薦書を取りまとめ, 学会本部に推薦書を送付した(9月20日).

### 3. 部門賞, 部門一般表彰候補者の推薦

- ・ 運営委員会構成員には第1回運営委員会にて推薦を依頼. 9月に部門ホームページに推薦書類を掲載. また, 同時にインフォメーションメールで部門登録会員全員に推薦依頼(締切りは10月1日).

4. 若手優秀講演フェロー賞候補者の推薦

- ・ 若手優秀講演フェロー賞推薦に関して、年次大会（秋田大学）、熱工学コンファレンス（名古屋工業大学）の実行委員長に推薦を依頼した（それぞれ8月下旬）。なお、依頼時に「評価プロセス手順」「評価フォーム」を併せて送付し、年次大会については「部門横断セッション」での評価対象とする発表を事前に検討・選定してもらうように依頼した。
- ・ 運営委員会に代行運営委員会（メール審議）として附議し承認を受けた。学会理事会に報告（3月末日）。部門HPに公表予定（本件も早めの公開とする）。贈賞は2020年10月に開催される熱工学コンファレンス（北海道）にて実施の予定。

5. 部門賞・部門一般表彰・若手優秀講演フェロー賞および講演論文表彰

●部門賞（5件）

- ・ 国際功績賞 Suk ho Chung（King Abdullah University of Science and Technology・Founding director）
- ・ 研究功績賞 花村克悟（東京工業大学・教授）
- ・ 研究功績賞 高松 洋（九州大学・教授）
- ・ 技術功績賞 藤森俊郎（IHI株式会社）
- ・ 業績賞 白樫 了（東京大学・教授）

●部門一般表彰（計2件）

- ・ 貢献表彰 林 潤（京都大学・准教授）
- ・ 貢献表彰 深淵康二（慶應義塾大学・教授）

●講演論文表彰（計5件）

- ① Paper ID : 24440  
Title : Evaluation of the Relations between Hindered Diffusion Process of Protein and Membrane Structure  
Authors : "Atsuki Komiya, RyoWatanabe, Hani A.Aldaftari, Shuichi Moriya (Tohoku Univ.), Sebastien Livi (INSA Lyon)"
- ② Paper ID : 24004  
Title : A Machine-Learned Turbulence Generator for the Channel Flow  
Authors : Kai Fukami , Yusuke Nabae, Ken Kawai , Koji Fukagata (Keio Univ.)  
Paper ID : 24430
- ③ Title : Wall Chemical Effect on Cool Flame Ignition Behavior"  
Authors : Minhyeok Lee, Tomotaka Mizuno (Univ. Tokyo), Yong Fan (Natl.Inst. Adv. Ind. Sci. and Tech.), Yiguang Ju (Princeton Univ.), Yuji Suzuki (Univ.Tokyo)"  
Paper ID : 24330
- ④ Title : Effects of Ammonia Addition on Direct Steam Methane Reforming Reaction on Ni-YSZ Catalyst  
Authors Katsuyuki Teramoto, Hiroshi Iwai, Masashi Kishimoto, Tomohisa Kawaguchi, Masashi Takemoto, Motohiro Saito, Hideo Yoshida (Kyoto Univ.)"
- ⑤ Paper ID : 24289  
Title : Photon Upconversion using Intermolecular Energy Transfer for Increasing Sunlight Utilization Efficiency: The Developments of Visible-to-Visible and Visible-to-UV Conversion Materials"  
Authors : Yoichi Murakami, Ayumu Motooka (Tokyo Inst. Tech.), Kazuki Niimi (Nippon Kayaku Co. Ltd.), Atsushi Kaiho (Nippon Kayaku Co. Ltd.), Noriko Kiyoyanagi (Nippon Kayaku Co. Ltd.)"

●若手優秀講演フェロー賞（計3件）（○印が受賞対象者）

■2019年度年次大会（2件）

- ① 講演番号：J02206  
講演題目：接着分子結合量が白血球ローリングに与える影響の解明

研究者氏名：○市川拓弥（東京理科大），フォンチュンリ，山本憲，元祐昌廣

② 講演番号：U00656

講演題目：サブミクロン冷線による壁乱流変動温度場の高精度測定

研究者氏名：○羽場皓平（名工大），成井礼，保浦知也，田川正人

■PRTEC2019（1件）

① Paper number：24098

講演題目：A Trial for Vitrification of Medaka Eggs with Microinjection of Cryoprotectants

研究者氏名：○Takahiro Aie (Kyushu Inst. Tech.), Junji Fukatani (Kyushu Inst. Tech.), Hirofumi Tanigawa (Kyushu Inst. Tech.), Takaharu Tsuruta (Kyushu Inst. Tech.)

※熱工学コンファレンスは台風の影響により中止。

以上

## 学会賞委員会

委員長： 中別府修（明治大学）  
 幹事： 鎌田 慎（明治大学）

1. 委員会構成 委員長 中別府修（伝熱），幹事 鎌田慎（熱物性）  
 委員 （覆面）伝熱 2 名，燃焼 2 名，熱物性 2 名 計 8 名
2. 選考・作業方法
  - 1)前委員長から従来方法を確認し，同様に実施。
  - 2)部門登録者宛てのインフォメーションメールにより応募を募り，自薦・他薦を受付。
  - 3)応募案件で推薦条件を満たすものは，被推薦者へ応募書類の作成を依頼。
  - 4)複数応募があるカテゴリーでは，委員の評価ポイントを総合し，推薦順位を決める。部門推薦欄に部門内順位も記載。
  - 5)作業進捗，推薦内容を部門長・幹事へ報告・確認し，学会へ書類を提出。
3. 活動履歴
  - 5月 28日 部門委員会 活動方針の確認  
 <日本機械学会賞募集の案内メール 6月 7日（金）配信>
  - 6月 14日 部門インフォメーションメールにて 部門推薦（自薦・他薦）の募集  
 委員長・幹事宛てのメール申請， 締切 2019年 7月 1日（月）（必着）  
 委員からの推薦締切 7月 10日
  - 7月 10日～20日 推薦案件の選定，推薦書作成依頼
  - 7月 20日～8月 1日 推薦書類の確認，部門推薦文章の作成
  - 8月 1日 書類提出
4. 選考結果
 

日本機械学会賞（技術功績）	1 件	（昨年度 0 件）
日本機械学会賞（論文）	1 0 件	（ 6 件）
日本機械学会賞（技術）	1 件	（ 1 件）
日本機械学会奨励賞（研究）	4 件	（ 2 件）
日本機械学会奨励賞（技術）	0 件	（ 0 件）
日本機械学会教育賞	1 件	（ 0 件）
日本機械学会優秀製品賞	1 件	（ 0 件）
5. 申し送り
  - ・部門全体から推薦できるように委員の専門分野を考慮して選定
  - ・動き出しは，機械学会のインフォメーションメールより前でも可。
  - ・委員会活動はメールベース。
  - ・企業所属者対象の推薦が少ない。奨励賞（技術）は昨年同様応募・推薦 0 件。
  - ・年齢，会員，業績の制約があるので，委員会での活動前に確認が必要。
  - ・仕事の性質上，委員長・幹事のロードは高い。
  - ・部門長との連携の時間的余裕が大事。

以上

## 年次大会委員会

委員長：長野 方星（名古屋大学）  
幹事：上野 藍（名古屋大学）

### 2020 年度年次大会

開催日時：2020年9月13日（日）～9月16日（水）  
開催場所：名古屋大学 東山キャンパス（名古屋市千種区不老町）  
キャッチフレーズ：『人・モノ・未来をつなぐ機械工学』  
大会テーマ：「Society5.0を支えるイノベーション」、  
「人・生物・機械の持続的調和社会の実現」、  
「超少子高齢社会を豊かにする次世代技術」

#### 1. 2020 年度年次大会（名古屋大学） 熱工学部門共催 OS（6件）

J025 機械工学に基づく細胞アッセイ技術  
バイオエンジニアリング部門（マイクロ・ナノ工学部門，流体工学部門，熱工学部門，ロボティクス・メカトロニクス部門）

	オーガナイザー	所属
	出口 真次	大阪大学
木村 啓志		東海大学
鈴木 宏明		中央大学
元祐 昌廣		東京理科大学
川原 知洋		九州工業大学
須藤 亮		慶応義塾大学
横川 隆司		京都大学

J032 Society 5.0を支える「電子実装技術の最先端」：熱・信頼性制御技術  
材料力学部門（熱工学部門，計算力学部門）

	オーガナイザー	所属
	三浦英生	東北大学
	木下貴博	富山県立大学
	畠山友行	富山県立大学
	池田 徹	鹿児島大学
	小金丸 正明	鹿児島大学

J052 マイクロ・ナノスケールの熱流体现象  
流体工学部門（熱工学部門，マイクロ・ナノ工学部門）

	オーガナイザー	所属
	米村 茂	東北大学
小原 拓		東北大学
山口浩樹		名古屋大学
鈴木雄二		東京大学

J121 価値共創に繋げる 1DCAE・MBD

設計工学・システム部門（機械力学・計測制御部門，機械材料・材料加工部門，流体工学部門，熱工学部門，計算力学部門）

	オーガナイザー	所属
	大富浩一	明治大学
	山崎美稀	日立製作所
	西村秀和	慶応義塾大学
	長沼要	金沢工業大学

井上全人 明治大学  
福江高志 金沢工業大学

#### J181 交通・物流機械の自動運転

交通・物流部門(機械力学・計測制御部門, 技術と社会部門, 設計工学・システム部門, 機械材料・材料加工部門, 流体工学部門, 熱工学部門, 法工学専門会議, 産業・化学機械と安全部門, ロボティクス・メカトロニクス部門, スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門, 生産加工・工作機械部門)

オーガナイザー 所属  
高田 博 東京理科大学  
中野 公彦 東京大学  
西村 秀和 慶應義塾大学  
高田 一 横浜国立大学  
綿貫 啓一 埼玉大学

#### J241 医工学テクノロジーによる医療福祉機器開発

医工学テクノロジー推進会議(機械力学・計測制御部門, 流体工学部門, 計算力学部門, バイオエンジニアリング部門, ロボティクス・メカトロニクス部門, 情報・知能・精密機器部門, 材料力学部門, 熱工学部門, マイクロ・ナノ工学部門, 機素潤滑設計部門)

オーガナイザー 所属  
陳 献 山口大学  
佐久間淳 京都工芸繊維大学  
葭仲潔 産業技術総合研究所  
藤井 文武 山口大学

## 2. 部門同好会

現在企画書募集中 (3月27日(金)締切)

名古屋大学内で開催する場合: 9月14日(月)

名古屋大学外で開催する場合: 9月15日(火)以外(懇親会と被らないように)

昨年, 一昨年は計算力学部門, 材料力学部門, 流体工学部門と4部門合同開催

以上



## 環太平洋熱工学会議委員会

委員長：店橋 護 (東京工業大学)  
幹事：深潟 康二 (慶應義塾大学)

### 1. 運営組織

#### ・共同議長

JSME: Prof. Mamoru Tanahashi, Tokyo Institute of Technology

KSME: Prof. Yongchan Kim, Korea University

ASTFE: Prof. Sumanta Acharya, Illinois Institute of Technology

#### ・Secretary General

JSME: Prof. Koji Fukagata, Keio University

KSME: Prof. Hoseong Lee, Korea University

※その他の運営組織に関しては第1回運営委員会資料「第97期 活動計画」あるいはPRTEC2019 webpage (<https://www.jsme.or.jp/ted/PRTEC2019/>) を参照。

### 2. 開催までのスケジュール

現地下見・打合せ	2019年3月8日～10日
Registration fee 確定	2019年3月中 → 6月に遅延
Keynote lectures fixed	2019年3月中 → 4月13日に一旦確定
※	
	※その後いくつか変更発生
Submission site open	2019年3月中 → 4月1日公開
Abstract for review due	Apr. 30, 2019 → May 15まで延長
Notification of abstract acceptance	May 31, 2019 → June 15まで延長
Extend abstract for review due	June 30, 2019 → July 15まで延長
Notification of paper acceptance	July. 15, 2019 → August 10に遅延※
	※米国側との調整が必要となったため。
Conference registration start	July, 15, 2019 → June 24に遅延
Final extended abstract due	Aug. 31, 2019 → September 14まで延長
Draft program	Sep. 15, 2019 → Oct. 11に掲載
Deadline for hotel reservation at conference rate	Sep. 30, 2019 → Oct. 15 → Oct. 30
Deadline for early-bird registration	Oct. 15, 2019
現地最終下見・打合せ	2019年10月24日～26日
Deadline for late registration	Nov. 15, 2019
セッション座長確定	2019年11月4日 → 11月18日
Final program	2019年11月18日掲載
プログラム原稿入稿～校了	2019年11月18日～11月28日
Final program 修正版	2019年11月26日掲載
プログラム冊子納品	2019年12月9日

### 3. 開催報告

#### 3.1 開催期間：2019年12月13日(金)～12月17日(火)

うち 12月13日(金) Registration, Welcome Reception

12月16日(日) Conference Banquet

#### 3.2 会場：米国ハワイ州マウイ島, Hyatt Regency Maui Resort & Spa

#### 3.3 発表件数：380件

・Plenary Lecture：7件(日本2, 韓国2, 米国2, 台湾1)

Prof. Taku Ohara, Tohoku University

Prof. Yuji Suzuki, The University of Tokyo

- ・ Keynote Lecture : 15 件 (日本 5, 韓国 5, 米国 5)

Prof. Hiroshi Kawanabe, Kyoto University

Prof. Akio Miyaram Saga University

Prof. Osamu Nakabeppu, Meiji University

Prof. Hiroshi Suzuki, Kobe University

Prof. Kenji Yasuoka, Keio University

- ・ Panel Discussion : 2セッションで9件の発表

- ・ 一般講演 : 348 件 (筆頭著者の所属 : 日本 189, 韓国 57, 米国 76, 他 13 か国 26)

(中国 8, カナダ 6, イタリア 2, インド・ウクライナ・オーストラリア・オランダ・シンガポール・スウェーデン・台湾・トルコ・ドイツ・ロシア 各 1)

※上記に含まれない No show / 直前キャンセル : 23 件 (日本 1, 韓国 5, 米国 5, 他 12)

### 3.4 参加者数 : 493 名

- ・ 一般 : 283 (Early 250, Late 23, On-site 10)

- ・ 学生 : 192 (Early 186, Late 5, On-site 1)

- ・ 同伴者 : 19

### 3.5 国別参加者数 (同伴者除く) : 475 名

- ・ 日本 : 251 (一般 141, 学生 110)

- ・ 韓国 : 90 (一般 48, 学生 42)

- ・ 米国 : 101 (一般 73, 学生 28)

- ・ その他 14 か国 : 33 (一般 21, 学生 12)

(中国 12, カナダ 8, イタリア 2, スウェーデン 2, イギリス・インド・オーストラリア・オランダ・シンガポール・台湾・トルコ・ドイツ・ロシア 各 1)

※ウクライナからの発表者は登録時には米国の所属

### 3.6 収支

- ・ 収支は全体として 3,485,773 円の黒字. これを JSME (34%), KSME (33%), ASTFE (33%) で配分.

- ・ JSME への配分のうち 30%は本部への配分となり, 熱工学部門への配分は 829,614 円.

## 4. その他

- ・ 次回 (PRTEC2023) は ASTFE 主導で 2023 年 12 月にハワイ近辺で開催予定.

以上

## JSME-KSME 合同会議委員会

委員長：鈴木 雄二（東京大学）  
幹事：森本 賢一（東京大学）

第10回日韓熱流体工学会議（TFEC10）の準備の現状は下記の通りである。

### 1) 議長・共同議長について

Chair: Prof. Deog Hee DOH, Korea Maritime & Ocean University (KSME, FED)  
鈴木 雄二教授（東京大学）（JSME, TED）

Co-chairs: 森西 洋平教授（名古屋工業大学）（JSME, FED）  
Prof. Yongchan Kim, Korea University (KSME, TED)

日本側幹事：森本 賢一講師（東京大学）

の予定だったが、Deog Hee DOH 教授が学長就任のため、急遽 KSME-FED が  
Prof. Hanseo Ko (Sungkyunkwan University)

に交代した。

### 2) 開催日、開催場所

2021. 3. 3-3. 6 に釜山 BEXCO で開催予定だったが、Ko 教授が検討し、場所は釜山のままで  
2021. 3. 10-3. 13 に変更となる見込み。

### 3) 現在の状況

2020. 3. 31 にソウル大学で、鈴木教授、高木周教授（JSME FED 部門長の代理）が Ko 教授、Yang Na 教授（Konkuk University）、Haecheon Choi 教授（Seoul National University）と打合せを行う予定。

以上

## JTST 委員会

委員長：山田 昇（長岡技術科学大学）

### 1. 掲載状況（2020年2月28日現在）

- Vol. 1, No. 1 (pp. 1~41) : 4件  
 No. 2 (pp. 42~148) : 9件
- Vol. 2, No. 1 (pp. 1~133) : 12件  
 No. 2 (pp. 134~300) : 15件
- Vol. 3, No. 1 (pp. 1~166) : 16件  
 (2007日米熱工学会議特別号：Guest Editor=花村克悟（東工大）)  
 No. 2 (pp. 167~380) : 17件  
 No. 3 (pp. 381~551) : 15件
- Vol. 4, No. 1 (pp. 1~201) : 17件  
 No. 2 (pp. 202~323) : 11件  
 No. 3 (pp. 202~436) : 14件  
 (第7回日韓熱流体工学会議特別号：Guest Editor=近久武美（北大）)  
 No. 4 (pp. 437~517) : 8件  
 (第2回国際伝熱フォーラム特別号：Guest Editor=中別府修（明治大）)
- Vol. 5, No. 1 (pp. 1~188) : 15件  
 No. 2 (pp. 189~341) : 11件
- Vol. 6, No. 1 (pp. 1~202) : 17件  
 No. 2 (pp. 203~322) : 12件 (Preface を含む)  
 (第7回国際流体力学会議特別号：Guest Editor=圓山重直、小原拓（東北大）)  
 No. 3 (pp. 323~485) : 13件
- Vol. 7, No. 1 (pp. 1~349) : 27件  
 (うち 10 件は第3回アジア計算熱流体シンポジウムからのセレクトドペーパー：  
 Guest Editor=須賀一彦（大阪府立大）、芝原正彦（阪大）)  
 No. 2 (pp. 350~404) : 6件 (Preface を含む)  
 (第8回国際流体力学会議特別号：Guest Editor=圓山重直、小原拓（東北大）)  
 No. 3 (pp. 405~496) : 9件  
 (第4回マイクロスケール熱流体国際会議特別号：Guest Editor=高橋厚史（九大）、鹿園直毅（東大）)  
 No. 4 (pp. 497~766) : 19件
- Vol. 8, No. 1 (pp. 1~335) : 23件  
 No. 2 (pp. 336~447) : 10件 (Preface を含む)  
 (第9回国際流体力学会議特別号：Guest Editor=圓山重直、小原拓（東北大）)  
 No. 3 (pp. 448~612) : 12件
- Vol. 9, No. 1 (JTST1~5) : 5件  
 No. 2 (JTST6~15) : 10件
- Vol. 10, No. 1 (JTST1~20) : 20件 (2件の Review Paper を含む)  
 No. 2 (JTST21~28) : 8件
- Vol. 11, No. 1 (JTST1~19) : 19件 (2件の Review Paper を含む)  
 No. 2 (JTST20~33) : 14件  
 No. 3 (JTST34~49) : 16件 (Preface を含む)  
 (First Pacific Rim Thermal Engineering Conference 特集号：Guest Editor=須賀一彦（大阪府立大）)
- Vol. 12, No. 1 (JTST1~15) : 15件 (1件の Review Paper を含む)  
 No. 2 (JTST16~38) : 23件
- Vol. 13, No. 1 (JTST1~19) : 19件  
 No. 2 (JTST20~35) : 16件
- Vol. 14, No. 1 (JTST1~13) : 13件  
 No. 2 (JTST14~29) : 16件
- Vol. 15, No. 1 (JTST1~3) : 3件

## 2. 編修委員会

Editor-in-Chief : 山田昇 (長岡技科大)

Editors : 森昌司 (横国大、日本伝熱学会推薦)、松原幸治 (新潟大)、  
麓耕二 (青山学院大)、加藤健司 (大阪市立大)、櫻井篤 (新潟大)、  
大宮司啓文 (東大)、高橋周平 (岐阜大)、坪井伸幸 (九工大)

Advisory Board : 高田保之 (九州大)、佐藤勲 (東工大)、門脇敏 (長岡技科大)

## 3. 第 97 期特記事項

- ・ 投稿数について

2018 年の Impact Factor は 0.686 となり (昨年は 0.421)、投稿数は若干増 (詳細は別紙)

- ・ 査読期間について

可決までの平均日数の目標値 (100 日) をおおむね維持できた

- ・ 特集号について

The 7th Asian Symposium on Computational Heat Transfer and Fluid Flow- 2019  
(ASCHT2019)

および

The Second Pacific Rim Thermal Engineering Conference (PRTEC2019)  
の特集号を予定している (いずれも、企画代表者 : 芝原正彦 (大阪大))

以上

## 年鑑委員会

委員長： 芝原 正彦（大阪大学）  
幹 事： 瀬尾 健彦（山口大学）

2020年8月に電子版にて公開予定の「機械工学年鑑」の執筆者を2019年5月に以下のとおり決定し、2020年1月31日付けで学会の担当者大黒氏より執筆者に正式な執筆依頼と執筆要項、原稿テンプレートが送付された。原稿締切日は2020年4月6日であり、2020年6月中旬に原稿の査読を終了する予定である。

2020年「機械工学年鑑」 執筆者リスト

章・節・項	名 称	割当頁	執筆者に依 頼する内容	執筆者氏名	勤務先名
8代表者	熱工学		査読	芝原 正彦	大阪大学
8幹事	燃焼工学		査読	瀬尾 健彦	山口大学
8.1.1	伝熱および熱力学	2000字 程度	概説	津島 将司	大阪大学
8.1.2		2000字 程度	熱物性	元祐 昌廣	東京理科大学
8.1.3		2000字 程度	伝熱	岩井 裕	京都大学
8.1.4		2000字 程度	熱交換器	松本 亮介	関西大学
8.2.1	燃焼および燃焼技 術	3000字 程度	燃焼	渡邊 裕章	九州大学
8.2.2		3000字 程度	燃焼技術・燃 料	笹内 謙一	株式会社PEO技術 士事務所

以上

## 出版委員会

委員長: 藏田 耕作 (九州大学)  
幹事: 仮屋 圭史 (佐賀大学)  
委員: 濱本 芳徳 (九州大学)  
委員: 井上 修平 (広島大学)

### 1. 委員会の開催

ウェブサイト「熱工学ギャラリー」の公開や動画発表セッション「熱工学コレクション 2019 (熱コレ 2019)」の開催に向けて、メール会議を行った。

### 2. 熱工学ギャラリーの公開

広報委員会のご協力により、熱工学部門でメーリングリスト用にレンタルしている「さくらレンタルサーバー」にデータを置き、2019年6月25日、熱工学ギャラリーを公開した。

<https://g.ted-jsme.jp/>

また、熱工学部門のトップページにサイト開設の案内文とバナーを設置していただいた。さらに、開設の案内と熱コレ 2019 開催の案内をインフォメーションメールにて配信した。



↑ 部門トップページの案内文とバナー

### 3. 熱コレ 2019 の開催

熱工学コンファレンス (10/12-13, 名古屋) において動画発表セッションの「熱コレ 2019」を企画したが、残念ながら演題の申し込みがなく、企画倒れに終わった。通常の発表とは違うので複数件の演題登録をしても差し支えないことを周知するとともに、個別に登録を依頼するなどの働きかけが必要と思われる。また、毎年ではなく隔年実施にするなど、動画発表セッションを持続できるような方法について検討する必要がある。

以上

## 講習会委員会

委員長： 戸谷 剛（北海道大学）

### 1. 委員

委員長 戸谷 剛（北海道大学）

### 2. 今期の活動計画

#### ・部門講習会

「伝熱工学資料」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用は、近年参加者数が低迷していたが、2019年9月24日(月)、25日(火)に行った講習会では、昨年度に比べて参加者が増加した。当該期の委員会が、協賛学会へ広く募集したことが効果的だったと思われる。来期の講習会は、2020年9月24日(火)、9月25日(水)（日本機械学会会議室）での実施を決定した。

(参考) 過去5年間の講習会企画

企画期	テーマ名	開催日時 (企画期次年で開催)	開催場所	参加者数(学校(学生)/企業/その他)
96期 (2018)	「伝熱工学資料(改訂第5版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用	9/24(月)10:00-16:25 9/25(火)9:00-17:05	日本機械学会会議室	31名 (2(2)/24/5)
95期 (2017)	「伝熱工学資料(改訂第5版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用	9/27(木)10:00-16:25 9/28(金)9:00-17:05	日本機械学会会議室	20名 (6(1)/14/0)
94期 (2016)	「伝熱工学資料(改訂第5版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用	9/28(木)10:00-16:25 9/29(金)9:00-17:05	日本機械学会会議室	20名 (0(0)/20/0)
93期 (2015)	「伝熱工学資料(改訂第5版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用	9/29(木)10:00-16:25 9/30(金)9:00-17:05	日本機械学会会議室	38名 (7(4)/28/3)
92期 (2014)	「伝熱工学資料(改訂第5版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用	9/24(木)10:00-16:45 9/25(金)9:00-16:45	東京大学 山上会館	39名 (7(5)/31/1)

#### ・ワークショップ

2019年のワークショップは、熱工学コンファレンス会期中に「熱工学ワークショップ」として、産業界の最新の伝熱研究や要望を3名の講師に講演してもらうスタイルで実施予定であったが、台風19号の接近により中止になった。2020年は、実施スタイルは変えずに、熱工学コンファレンス2020（札幌）の初日（2020年10月10日(土)）に、ランチョンセッション（お弁当付き）として開催する。テーマ（講師）については検討中。

(参考) 過去5年間のプレコンファレンスセミナー・熱工学ワークショップ企画

企画期	テーマ名	開催日時 (企画期次年で開催)	開催場所	参加者数(学校(学生)/企業/その他) (有料参加者)
96期 (2018)	産業界で求められる伝熱研究	2019/10/12(土)を予定 台風19号により中止	名古屋工業大学	台風19号の接近のため中止
95期 (2017)	産業界で求められる伝熱研究	2018/10/22(土)	富山大学	97名
94期 (2016)	(熱工学コンファレンスの開催がないためセミナーは未開催)	-	-	-
93期 (2015)	産業界における「熱マネジメント」	2016/10/22(土)	愛媛大学	90名
92期 (2014)	バイオマスを中心とした再生可能エネルギー	2015/10/23(金)-24(土)	関西大学 高岳館	23名 (22(7)/1/0) (20)

### 3. 検討課題

#### ・講習会企画

これまでと同一内容で実施するが、開催を広く案内することで参加者が増えるように注力する。

#### ・ワークショップ

96期講習会委員会、総務委員会等と情報交換し、開催に向けて実施形態の検討、テーマおよび講師の選定を進める。

以上。



## 熱工学コンファレンス 2020 実行委員会

委員長：田部 豊  
幹 事：橋本 望

### 1. 準備状況について

#### ■ 実行委員会

顧問：近久武美 北海道職能大	委 員：小橋好充 北海道大
顧問：藤田 修 北海道大	委 員：小林一道 北海道大
委員長：田部 豊 北海道大	委 員：坂下弘人 北海道大
幹 事：橋本 望 北海道大	委 員：柴田 元 北海道大
委 員：赤堀匡俊 釧路高専	委 員：武田清賢 北海道ガス
委 員：大島伸行 北海道大	委 員：寺島洋史 北海道大
委 員：大竹秀雄 北海道科学大	委 員：富樫憲一 道総研
委 員：小川英之 北海道大	委 員：戸谷 剛 北海道大
委 員：小原伸哉 北見工大	委 員：永田晴紀 北海道大
委 員：川村淳浩 釧路高専	委 員：林田和宏 北見工大
委 員：菊田和重 苫小牧高専	委 員：三戸陽一 北見工大
委 員：北川浩史 北海道科学大	委 員：山田雅彦 北海道大
委 員：北口敏弘 道総研	委 員：脇田督司 北海道大
委 員：黒田明慈 北海道大	委 員：渡辺伸央 北海道電力

#### ■ 熱工学コンファレンス 2020 開催日時・会場

開催日：2020年10月10日（土）、11日（日）  
会 場：北海道大学 工学部（札幌市北区北13条西8丁目）

#### ■ 熱工学ワークショップ

講習会委員会と協力して前回と同様の方法での実施を予定する。

開催日：2020年10月10日（土）12:00～14:00（予定）  
会 場：熱工学コンファレンスの会場内  
形 式：ランチョンセミナー形式  
参加費：無料（お弁当・お茶を希望される方は1,000円）  
募集人数：100名（先着順）

#### ■ 懇親会

開催日：2020年10月10日（土）  
会 場：京王プラザホテル札幌 3階雅の間（札幌市中央区北5条西7丁目2番地1）

#### ■ 特別講演

講師を検討中。

#### ■ 参加費等（案：総務委員会の意見をうかがう。）

参加登録費 [講演論文集（電子媒体）を含む]	(2016 愛媛と同額)
会員 (事前) 10,000円	(当日) 13,000円
会員外 (事前) 15,000円	(当日) 20,000円
学生 (事前) 5,000円	(当日) 9,000円
懇親会会費	(2019 名古屋と同額)
一般 (事前) 6,000円	(当日) 8,000円

学生 (事前) 4,000 円 (当日) 6,000 円

※会計業務を業者に委託し、クレジットカード支払いに対応する。

■ 講演論文集の形態と発行方法 (案), 審議事項

形態: 2019 (名古屋) と同様, 「原稿書式 (2~6 頁, 英文アブストラクト付き) および講演会での議論に主眼を置いた簡素化した原稿書式 (1 頁限定, 英文アブストラクト無し)」とする。

発行方法 (媒体): CD または USB のいずれか。ただし, 予算の状況により Web 配信も検討。

■ ホームページの開設

2020 年 1 月 16 日にホームページを公開。

- ・ URL: <https://www.jsme.or.jp/conference/tedconf20/>
- ・ 事務局メールアドレス: [tedconf20@jsme.or.jp](mailto:tedconf20@jsme.or.jp)

■ オーガナイズドセッション (OS) の募集開始

3 月 5 日に OS の企画募集案内を熱工学部門登録会員宛 (メーリングリスト) に配信。応募締め切りは 3 月 31 日。

■ 熱工学コレクション 2020 (熱コレ 2020)

未定

■ 会告

学会誌の WEB 版 4 月号に掲載予定。

2. 今後の予定

- ・ 7 月: プログラムの検討。
- ・ 9 月中旬~10 月初旬: 収支 (予算) および準備状況の確認。

以上